いと言明してゐるが職場了る底に ・ 在粉倫は二十一日無種便に

終、悪見なくとも一名的と20年 年度から直も二生産を収容、三空学人の表成しため緊張向深に指揮 年度から直も二生産を収容、三空学科は「自由して審賞と加え、これらの新設解科に項目は「10年度」となった。これらの新設解科に項目は「10年度」となった。

そので各方面より新施設の成果 とも直接大陸報營の開策に即應了

雜誌用紙

山

専門

校に

新學科

共同施設補助增額

鸭業補償制の擴大

下郷と乗らないが基準と競行権間三年とた、者によれば継段総は十三年を育成、特約店に對し依命道牒三後

と、なり二十八月竹内行政調整

首相ご要談

「東京電話」 商工省ではパルプの

まと山南郷のは、十八日午前十

一方面に連載的場場を致行しつく

製明の東非大統の採み崎監主たる「熊宝池路」諸繁友し、難じてる

問題山東が護殿に関力し吉原大

維持することは困難であるとされてゐる

がよしたばそれが成立を見るもその主張は共産派化されること明

國民黨左派、第三黨歌國督、共産派をもつて急進的中央黨部を組織せんとしつ、ある障様躍起となり蔣介石、馮王祥、于右任、孫科、朱子文、宋庭齡らを看板とする抗戰派将領、紋がいかなる方面まで及ぶか豫測の限りでないが位方左派及び抗戰派は中央黨部の再建に

らみられてゐる、かくて在來の國民黨中央黨部は完全に崩壞せんとする形勢にありその波したがすでに陳公博、顧孟餘、周啓 剛らを加へ重 慶を去る大小 要人は三十名を下るまい

見るも在の重慶の田に突襲的行動。 ると共に揺乱等に選すべき減壊の一般工作場化、必要が力鋭いた、気が確実として概へられた蛇より。 ると共に揺乱等に選すべき減壊の一般工作場所、民衆戦は神地戦より重し、無郷延郷により昆明経由戦々励。の重慶代議において暮ら后はみ替し、決撃戦は神地戦より重し、海に来界は既にすし見れた蛇より、

一院は二十四、五兩日に亘り常熟果一に對し水野鏡太郎氏が出席者を

行では北方等に對する第二次大幅

主海廿八日同盟 解州附近藝術 遺棄屍二百餘

特国語の組織が外部からの決定的

で発音器時より早くも図

山瀬飛行部隊

3自然の戴勢擴張にのみ汲々たる陋劣さを痛烈に論難、抗戦以来初めてその態度を明かに)、右情報によれば陳立夫はこのほご雑誌『抗戰』に共産黨が各黨聯合を唱へながらそのも反 共態 医を表明しすでに重 慶を去つたと傳へられ一大センセーションを接起してわ

日地変那人族の情報によれば汪清

【新暦廿九日 筒盟】常地漢 字級】要は五ヶ峰を指示したが特に

このるるりから更に確實なる支那側情報によれば陳立夫、許世廷ら國民意中樞要人がい憲港特電(廿八日鞭)何應欽の軍政部長辭任、江精衛の出國なごが嫡府內外に大衝動を興

國民黨中央黨部將に崩壞

素化地展開添化工作を説明しこれ。示した事質も含り関係の赤化野歌。れて、今名 月寸四日附交費を以て共産系の末。赤化工作に送ばされる事者れと問。歌し始めたことを典論もものとさ 原摘頭自衛騰緬司舎被稱準句で、凡 単はこれに続いての後足楽に刻し。に窮散権がこれらの赤化工作を警

るべく酸命した事判明した、黄樹の進川が積極的になると共に大争

様であり岡洪合作に乗じて共産軍

共産黨の暗躍。登

央京部は浙江省政府主席兼第三版 た蘇側公文書によれば國民黨中「南京二十八日同盟」我方の入手

(連重慶を脱出か

及共態度を表明し

〒七日午菅山東部駅の中村、「七瀬走すと龍で蟷螂、遠路を遮瞰、多次に職果を取めた中でてこれを配線せしめた、な「石庫及び砲撃し景襲、素頼を打し」のさとともに地上〇〇 | わるとともに地上〇〇部隊に施力 | 北の自前日附近に帰居する敵戦域 | 撃明む競表ビルマ總由蜀支武器撃

て蘇の遠条先輩二百五十四、排壓、距壁の討伐したがこの範囲におい

答品は小統員一挺、頭鹿に高数、

對支武器輸入

ピルマ政廳聲明

戦記出で、

日本感動し

望の鮮血滴る

経過を検 のロ上等表

對米回答通道

川島聯盟總裁 在京朝鮮關係者招宴 事情解明

ひ、物心預方面から撃阀一致の朝鮮で関民精神機動員運動を行 撃事件での他十数件の不詳な問の概念文を以て桐柏における

正午帝國ホテルに招待した、田席

省は水野峡太郎、農屋真三郎、石 がは在京朝鮮職体有力者を廿九日

开光雄、加麗敬三郎、字佐葵勝夫しの校野をのべ、

献氏で、先づ川為大將が脳民籍師

聯銀券普及に

山西に行員派遣

非訟事件改 上法案要點

風的挑除のため治安工作の進展と **かるべく三月中旬運堤臨汾を中心** 程<mark>保つて職銀券の積極的普及を</mark>は して修文整理中であるが改正の夢

して山西省南部地方に行兵西藤 會此整理に限する手槍法規の

有田松岡兩氏

間、常面に問題につき要談をとげ 三十分教養に別様に近衛首相を訪三十一日路京・るが同日午朗九時 午後年末職選いたの湯何原へ赴き

事變勃發と同

上等兵中野部隊

+

字通り轉戰千里の勇士が彈雨下に書いた手杭州縛上陸、南京戰、續いて漢口へ!文

公表された、中主なるもの左の

姥 二

民物神總物員朝鮮聯盟鄉及

米國側の努力失敗 米洲會議と獨紙の見解

は失敗に終つた旨を大の如く述べに駆めんとしたアメリカ側の努力

【ベルリン廿八日同盟】 第八回記 通じて米洲諸関の共同は

基地に無事歸還した柴田機勇士

重慶爆撃決行の陸の荒鷲
片鼓動機で〇〇

している遊典税の範囲も機だして

の主意が最をはかるため明年変越 遊興税は國税に移管 增額四、五千萬圓程度

茅蟬、同横山薩正、同三谷完市 陆軍步兵少佐 海內鶴正、同稻

職軍步兵大佐 (各通)

市川芳雄、同下村縣市、同大村 映軍歩兵中佐 上田 倡一、同

監書により喰ひ止めてその対策関

の四、五月頃現在ストツノ及い たず方動である。 即も商工部

心響が表面的に現れ来る事は必至

検検的方派を寄に樹立しこれ

□九和報慶であるため此の朝舎 「四」二、韓梁定立補貨制度の樹大 奥から 「本においてい四百十二」である。 「本においてい四百十二」では、「本には東方い、親行が安心」でで東京においてい四百十二」で、韓梁定立補貨制度の撥大 奥から無路補助命の特製 「四」二、韓梁定立補貨制度の撥大 奥から無路補助命の特製 「四」二、韓梁定立補貨制度の撥大 奥から無路を持ちます。 理税を新設 の機党をなるしめるという機関を発するという。

域を脱してるないに数が

商工省對策に積極的

こと得べく大優店の如くで カエ茶着も底に轉換を決

建議用紙に對しては十二年七月。 十四年一月以降十二月に至る。

總員三百五十九名 院軍國兵少佐 南传宏策、四林 近衛首相を訪問要議

興班院衛記官

東西南北島

文那事變が に対れる軽減にとなる表しいのだ。 生んだ作品 生んだ作品 という は多いが、これは戦争記録にして人間記して人間記して人間記して人間記して人間記して人間記して人間記して、明報を持ち、これは戦争記録にして人間記して、日本の場合を表して、日本の場合を表して、日本の場合を表して、日本の場合を表して、日本の場合を表して、日本の場合を表して、日本の表しまりまして、日本の表して、日本のまりで、日本の表して、日本のまりのまりで、日本のまりのまりで、日本のまりのまりで、日本のまりのまりで、日本のまりのまりでは、日本のまりのまりでは、日本のまりのまりでは、日本のまりのまりで 背價壹圓·東京新湖, 工 將軍曰く 新川英治氏日く 吉川英治氏日く 題である。 せるものである。 日本が興る鍵とい質理を悟ら に流れる精神とそ日本が勝ち 概に薄ち凝れてゐる。この書見られる。「つはもの」の領

語る熱血の戦記だ!本兵士の魂を代表して これこそ戦場百萬の日

一恩師追慕の邂逅

「別、夫名十九日後数金融金し雷局」類したので直ちに手續さ 「伊、井郎」現金七百五十二四を横、返しを節約、井朗を翻訳 「伊、井郎」現金七百五十二四を横、返しを節約、井朗を翻訳

電話・京城中外移院の一萬 の勝登網を署り、北支への希景び郷人が北支への高景途中に 途中を決る廿四日平北の異調等は一般に捕まった――輸出郡江 に歌神された

側の観燈生命保留を提供すると、改奪此では、赤社真三百名に併る

反物を盗んで

釜山地方法院署主軍主軍主

萬圓拐帶の犯

川工作所 東京教育・日本の教育・

喪中に付年未年始缺醴仕候

京城府體智町

天一藥房 趙

寅

爕

謝近火御見舞

行売の大最・暦品の上最 謝近火御見舞 職近火御見舞 精力强進引歩が背トニカ

謝近火御見舞

新近火御見舞 電 商 會

海尾 所 店 居 庄 吉 南 尾 庄 吉

新近火御見舞 新近火御見舞

程 天理教學三女所 天理教學三女所 神田 病 院本田 病 院本田 病 院本田 病 院 新工作 東京 城 支 部 京 城 支 部 京 城 支 部

ウサギ型行板店 電船原司古府店 電船原司古府店 電船原司古府店 でである町二丁

出來た味なので: 何しろ初めて

ないんです

A 樂 町 謝近火御兄舞

ij

殿下を初め奉

かな迎春

昨兵並に選家族に上を思召 の鬼と化して、概多出怨なえ **基単級に母接数 さらせ**

氏草唯恐懼

圓横領

京城軍事後援聯盟では新年早々二

節するであらう。——いろいろの意味で 現はれでもあるといよ、他の野際をも強 あり、貧更事態の巫順たる特質の一間の そこにあるのであらうか。そしてこれは この作品が特異な地位を占める所以も、 た日常単が凡て興宗事である。そして職 やうに、役人し安占してゐる。だからと さして戦争を眺めた多くの文章のなかで い思維が盛られてゐる。日常生活に對立 争そのものゝ中に於ての、全身的な瞬間 こでは、異常事が凡て日常事であり、ま また。日本的なものゝ一面の現はれでも と質性とを持つた、平凡なやうで而も深

造改 国丁七橋新區芝京東 番二〇四八京東替振

與國自動車會社 數近火御見舞

謝近火御見舞 敬取 极 所大

場

「土と兵剣」

豐島與志雄

の殊特性

戦争文學である。作者は戦争そのもの人

火野幕平氏の「土ヶ丘」は、韓男な

なかに、人が日常生活のうちに安国する

錢拾六價定 錢 六 料途

消防手一名重傷

ニキロボー

上變騰器、三十十三相柱上變壓

心本(2)是[]((2) 所称。 京城府故部[二] 日 京城府故部[二] 日 京城府故部[二] 日 大御見舞 南會

謝

洛合部隊長のエ

漢江の氷上へ

生北六十嶺峠の椿事

き花一

復興にあたつては所以とぬ

よ誠末を動と動話である 長の手に納まることになったとい

かは見物で開始になら相常は終うかは見物で開始になられば相常は相信はは

そものと見られてゐる

スピード逮捕

健正一情を後期が長に贈るこ

取締役 (群山無蟲側) 沖林駐 (担果無蟲側) 大橋駐長、大

位與の父の温情に

「商標の紛糾」表面化

祖舎員には重大な死古問題と



情身にしむ年の暮 【天邱】 府北會

米のご飯もろくに食べられれ数民に對し人並の越中をさせ係では恒例によって廿七日午前十一時から胼も揚げて湿い

職の結果が野連事はサ八日野後にを受けてらるのを憤慨し、更に臨いが依然得に貼い自米を調製し檄養 「角仁白米主版和台では朝鮮精 で最名すると阿時に、朝鮮粉米

取資組合 理事長杉野榮八十二月二十六日仁川自米共同

処置を注目

四批は昨年宮和合の定数遊反に

「更に協議の簡果、朝鮮梅米を

はるから最初の契約通り角に自米 整合では朝鮮精本の知言大工場が

権を所當局も四部所決に努力

合いその概例しずってと難し角仁 組合の承認なきものは開発しても

うるに至った経緯し詳細に述べ、

では検査「中止いるでう原設し、100円では、朝鮮特米、角仁即自米に関し、女の格析に取録って完死や生となる、朝鮮特米、角仁即自米に関し、女の格析に取録って完死や生えるころ、重

角仁印に西南はたとへ仁川和米組一米位、御上に数しる場める女

副是と協議の上この様「折角部民」ら出目されて「こ 仁川】朝鮮精米株式会社がその 鮮精米を除名 角仁米共販組合の態度騒硬

海上から女の聲

が聞えるので直もに水上磐機橋派

原務課文書係長業務を見す 保長府盟 竹島 正男 釜山府辭令(中八日紀)

陳文書保長心得

未課水道係動物

準例

サンライス號/

(ベルスタンド科)

コースター式(全ケース、ハンモツクサドル附)金七鈴七園五拾戲也フリー式(牛ケース、小彩サドル附)金七拾園 五拾錢也

喪中に 付年賀缺禮仕候

肇

ギヤ

エム號

翌中に付年末年始録禮仕候

平壤府陸路里 二二七

福島柳山

宋松 武忠

「柳時換氏(安東郭守) 廿五日 張中の進廿六日配任 前田武英少佐(大邱游兵禄長) 間南地方初巡視を終へて十六

荷掛、フレーム卷、サドルカバー、錠前、ランプ等の附脳品及 び線引は別に代金申受けます。酒弊社製品には凡べてギヤエム

中に付年末年始の辭を御遠慮仕候

岩村礦業株式會社

社長岩

平

(コースター式は石平形共参・島の市) レデースポーツ・ファー式。年ケース附スポーツモデル・ファー式

金七拾八圆五拾錢也

喪中に付年末年始缺禮仕候

山府春日町二六

京城府黄金町二十百六七年末年賈鎮龍

出演作原即次嘉本山

ツ用車ペルスペンド

サンライス號 ギャエム 號

婦人用車

サンライス號

ソン號

重荷用車 これスタンド射ン

コースター式・金ケース、小コースター式・伊ケース、小コ

喪中に付年末年始缺禮仕候

泂

谷

靜

夫

松尾己之介

鉱山府大倉町四ノー八

のマークが附せられて居ります。

武石金堤三支旗梁支配人 廿六

所

喪中に付年末年始銀醴仕候

仁川商工會議所

にあつて敵弾下に民衆後後に死力「無金一篇か古鬼徴異」取入後職品」また検査首局からんな腹重に出及は事件披稿からよく最前組合裁「の徳しで綱と部落民の戦いが叶し「軸梯米が無何なと動戦と勝手と魔興観の報告規約在 明智が後期から変わらなりに」と「保機であえ、後してこれに対し魔興観の報告規約在規則を

(祖興遊戲が輝へられてゐる) 他の現本の世界的な多力と節氏の純情を録って聞くる版 野教官の献来的な多力と節氏の純情を録って聞くる版 野教官の献来的な多力と節氏の純情を録って聞くる版

古城復興の陰に咲く

一一段を発動し「申告すれ」が到 閉中に消えた。申告、受い、新房 ※調べの結果(切を自由したとして同型需要金十:("-)

寮川】明一方へ要面した一人の怪選押入り、

今回次に述べます様な時代に適した明朗な販賣法を質施するこ 我が國最古の歴史と此新最大の設備を誇る解配に於さましては 定價販賣宮田の自轉車

新近火御見舞 本 本 店

謝近火御見舞

今 井 嘉 整中に付年始級盤生数

月號

(第三百七十四號) (十年三面六十级)

綸

の道軍二突

嘉

車名及び品種の統一

統制經濟下の現在に於ては從來の樣に多種多樣な車名及び品種

電景局(2)00人で表現が大御見舞 門が、伊見舞

謝近火御見舞

電景局(2)]七三元 京城府本町二丁目 福屋裁缝店

艭 近

火 朝

御

文

久保田米二川府港町四丁目

お正月三日

に大獐狩り 師期司合品小符春初頭

致しました。廿六叶車に比し二割材料を多く使用する廿八叶車 の車を製作販賣する事は不適當でありますから別掲の如く統一 は自轉車工業組合聯合會の決議に依りその製造を中止致すてと

- 奥里の新春と迎へて徒らに界を養養院――・師願司会師では敬い

小賣販賣價格の制定

謝近火御見舞

ラデオ陳列館 京城府本町二丁目

日近

内本ボリング 伊 即 見

見

支 銀

店行

上田文次

こかき分け集合、大雄和りを決定 正月製分にひたるべき秋の 小賈値段は一切掛引のない定們で、何處でお求めになりまして つて居ないのが今迄の自轉車販賣の状態でしたが今回制定した も同一の統一値段で、しかも經濟的な、維持費のかくらぬ自轉 「値切られるもの」「貸賣するもの」と云ム概念で定價の定ま

を出した「響の家」に耐し、去る【大師】、寮三名以上の題召軍人

弊社代理店では總べて左記の小賣定價で定價票付の車を販賣致

して居りますから最寄の代理店で御心配無くお求め願ひます。

販賣方法の合理化

政府が現金販賣を機動してゐる現在貨賣をすることは關策に叛

謝近火御見舞

京城府本町二丁目五〇世 城 集 堂

舊年中は格別の御高配を給はも離みて御禮喪中に付年頭の御挨拶御遠応申上候

電本 三七〇二京第本町二〜三〇

澤田

に付非末年始の機は鉄罐仕

崎與 原海本町 了山

梶

原商

喪中に付年末年始の禮は無禮仕り候

くことにもなりますので、弊社は現金販賣を實施することに致

車として最も手頃の價格となつたのであります。

謝近火御見舞

佐新

新幕の强盗

【を州】既報を北、無破谷社の合

の合同成る

三笠町長谷部光雄氏へ送したが響い家は左い通

南关巡里在七八難貨商共在及○○ (新姓)二十五日子明三時近米高

蔵末の台所

【大邱】後来の関係で十七萬府民 | 同船に引き上げ人口呼吸、施した い大邱の水道

ないので引載き保護と加へると比

費用は一切見込んでありませんから其丈安くなつた譯でありま するやうなことは絶對致しません。

与ろ進んで品質の向上に最 げ得ましたので、創業以來蔵いて居ります過大な御信用を無に たが今後はその様なことが出来なくなり、又修繕、交換其他の せんが、弊社は以上述べた様な改革により合理的に價格を引下 個格を下げると云ふと品質を低下させたと思はれるかも知れま 品質の向上

に付年米中始の種は缺職化

手町

❷酒と京城の名士------0編輯室 ❷朝鮮及 粛洲の 財界と 重業界 蜿峡の皇帝色 る編輯室より 小松

14

根電及 根替京城一三一 之は新軍に共丈の價格を見込まねばならね結果となったのでし 從來實質以上に中古耶を評價して下取させられる智恨があり、 謝近火御見舞

談いわしや機店 近火御見舞 釘本洋樂器店

戸 商 店 長

り誤

本海里 船舶出版

繁昌

段中に付年末年始の種は映機は **翻第七十四議會打診**

東京虎之門廢十

●結核豫防法施行を希望于與關聯報 我町正俊●漢方醫學の科學的做計與醫學報報 原德行 《支那事變ご我國民(唿嘯)》 領直後の漢口を語る。標準職高瀬 な人 襗 尾

春

il

(東邦山人)

須

原口京 磨守

■スローガン時代を打診する…… 华

歸還勇士訪問記 頭所感

本本 誌 誌 祀 詑

瓜三

鼝 平

謝近火御見舞

選に服業の末確々た。実情と親つ つを受取って散いたいと専興制片は 34

して來にので見島知承も尚井難経。問題は来だ解決。見ず、各方面か「から毎日午後、時から前四時まで、原故に就では「切口を練して前しを頼力を取計って取りたいと模様「才就であるが、本悲し位故・難法、然難水の形となった始末で甘八日、身で散をはかったものであなか、た曹重を見為知事に送ってこれが「宮岳十萬國、うち四千株は公称」」かりなくなり、世七月の変中は自「も米益し、前記機構のし幣性」に

の三時間に重りやむを得なく膨水

設中に付率末年始級體仕候 電話本局2長一八一九時

發行所 削 鮮 東城蛤町四

時局座談會 [#四]

座談官を開催、兄島知事以下から遺寢會議部で本年排足の

奪の努力を排つて零る次第で有りますから品質に闘する御懸念

1 賣正

價表 (二十六吋)

設中に付年始鍛纜仕候

朝鮮絕督府遞信局仁川海事出張所

大邱鴻俠所長中に付年末年始缺職性候

布村重次

所長

悌

桑 野

藤牧場 興田 南松ケ

カース 漢主るぼの立霧 "健本複

海谷夫

演主·郎次傳內河大 たせらなうを者讚全聞新竇讀

どは腕片の膳左膳左下丹篇新 ?たつなし失。てしう

與八平川大· O放个作制 兵空航年少 若

魔ンが

聖

たとお嬢さんが、歌物された、 結。太刀風鋭し でも、それでは、如たら寄手であつて、光手より元年を明まずを取った少と、二余右は如何にもか難兵の面目が脱してみると、してれば知何にもか難兵の面目が開発してみると、ときれては、敵角の成力が逆に四年にして、 造一欲いて反対に破より四五非との時間に立して、 造一欲いて反対に破より四五非との時間に立して、 造一欲いて反対に破より四五非との時間に立して、 造一欲いて反対に破より四五非との時間に立って、 光手より元 記 鼓 飯 【禁無斷上演映益化】 四・〇〇 ニュース (象継派報・二・四〇 (東) ラデオ情報 「そればかりでなく、数子から、 手 型 (1) 数 塚 即一郎 の部 9 こありはせないかと云:無記こことで多少徹底を覧き 器成第二周年もあと一日で終らう 除軍國兵中佐 松村秀逸 大本野陸軍報道部 技術部 選が 金澤正夫 宮大脈の 錄 香 て真邪」活動と、分ならしめるもは晩揚の弾丸となり飛行機となっ 10・五0 (被) 歌歌曲 翌一たしきたりの残っている。今は年に市をめぐる色々の江戸情報 心協へて精古祖は益々編練割か 神ながらの 神祉参拝の 請演 (前10·1101 吉 田 **製部部のいで友人からよく響かれた分川くなり。シミキソバカスも** と根拠りました。観難省の信く概一機能クリームを使用するやうにな物的、日増に寒さがつのる季酸一れて困つて居りましたが、レオンー 対して思い踊りのよい結果け事がりません。つかりしてゐない上に蜜りつけるのですから しかし、例と言つても主概となるお肌がし からした肌を一時的お化粧によって美し け補を動運 自粉焦等も解消する ジ した。要時主婦の友でレオンを知いたがしませんので協めで居りま 新野 株は三三年前から様にシ 東京 裏 質 坂口かず代 ワ り見速使用しました皮脂さわりが して堀遊けがして割りました。こりましてからけ、脈がすべすべと 色白の美肌に ・荒肌・シ ス 肌の美白と健康に最も良いコー 道粘膜の側管及び深層に潜入し、こゝに慢性症に移て食しつゝあるも、それより二、三週間を經過すれば、 **松野三本入〈蜂** 劑所局新の疾淋 淋疾 0 い、、、、。のかり質値にて、ウラルゴールの新發明價値にて、 米 B 質に此の點は內服築或は注入藥 新 治 療 一円五〇 H 法

創製されては側管に

近火御

謝

金

子

型 **會 **** Л @ 活日活日活日活日活日活日 **港日港日港日**

一九三 岩

花日 **西里座金黄绷盖**

である。 ・されば感 ・されば感 ・されば感

华記 82= 記記 花 浪

2

| 株 吳 服 店

\$\text{\$\text{\text{\$\text{\text{\$\exititt{\$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex 近火御見舞 | 番九月| | 番番日 | 番西日 | 番西日 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1